

スーパートライ110スマート 廻隅・スマート一体袖仕様の施工ポイント

※施工仕様・方法詳細については
スーパートライ110スマート施工
要領書の最新版を見てください。

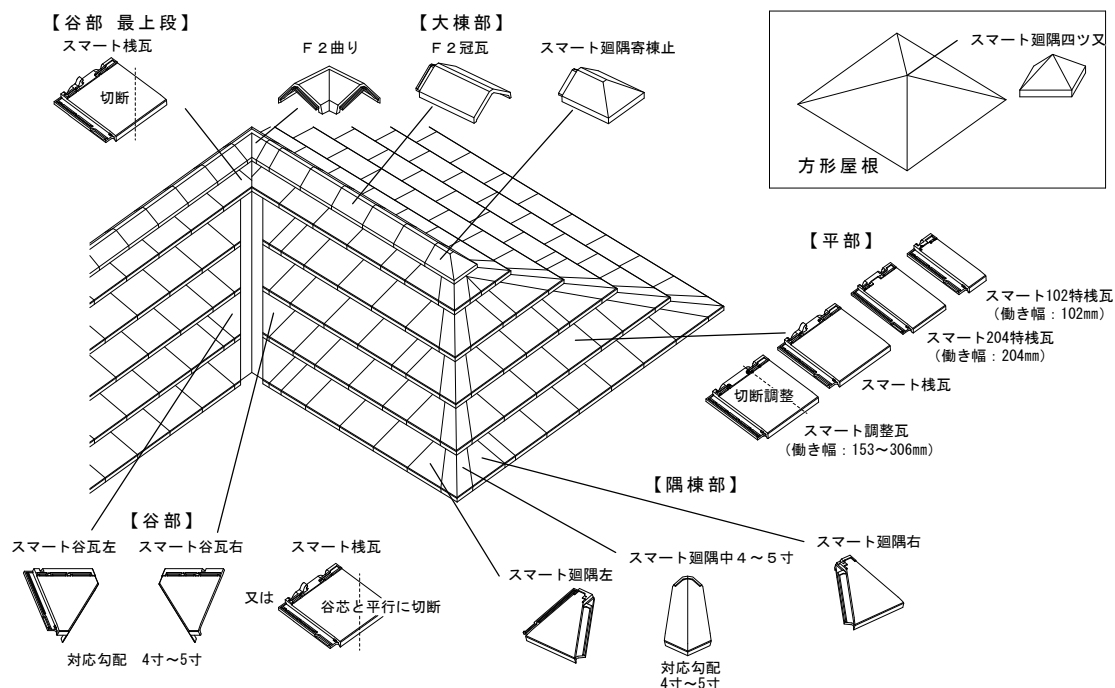
〔1〕 屋根勾配

廻隅瓦・谷瓦の適用勾配は4寸～5寸勾配です。

(※廻隅瓦・谷瓦を使用しない切妻・片流屋根の場合、適用勾配は2.0寸勾配以上です。)

〔2〕 寄棟屋根の施工

＜寄棟屋根で使用する瓦の種類＞

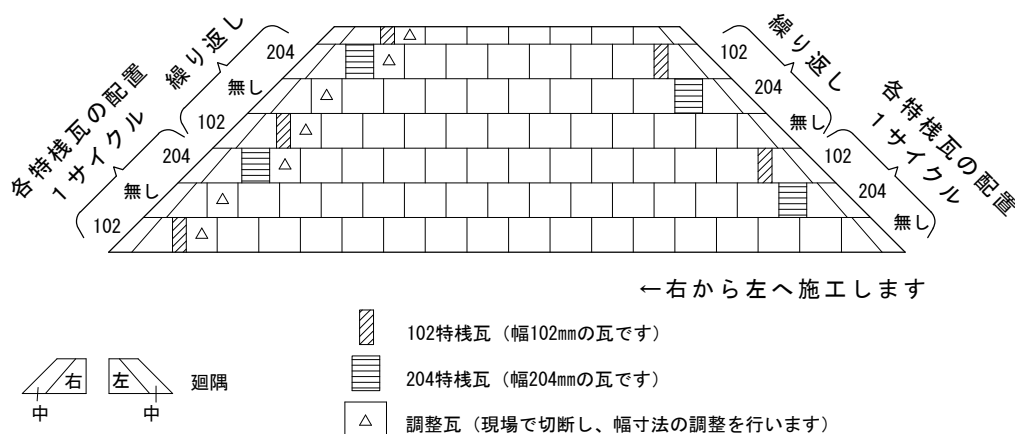


＜廻隅瓦の施工パターン＞

隅棟際の瓦の割付は3段で1サイクルとなり、
4段目以降はそのサイクルの繰り返しとなります。

葺き終わりの2種類の特棧瓦（102、204）の配置パターンは、野地の割付によって変わります。

「無し→204→102」「204→102→無し」「102→無し→204」のいずれかの繰り返しとなります。



※屋根勾配毎に設定された流れ方向の割付ピッチ（2頁参照）を守ってください。

※瓦一体型太陽電池設置時には屋根勾配毎の流れ方向の割付ピッチが適用できず、280mmに固定されます。

4.5寸勾配以外は上記施工パターンを適用できませんので注意してください。

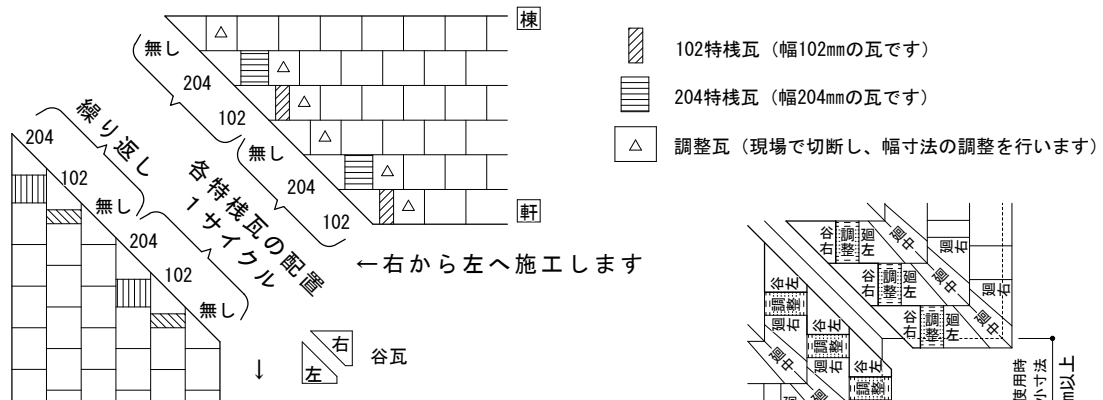
<谷瓦の施工パターン>

谷際の瓦の割付は3段で1サイクルとなり、

4段目以降はそのサイクルの繰り返しとなります。

葺き終わりの2種類の特棧瓦（102、204）の配置パターンは、野地の割付によって変わります。

「無し→102→204」「102→204→無し」「204→無し→102」のいずれかの繰り返しとなります。



※谷瓦を使用する際、隅棟と谷の間は737mm以上確保してください。

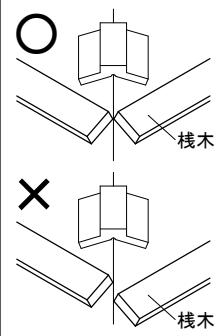
<下地材の取り付け>

棧木ピッチは屋根勾配毎に違います。【表1】

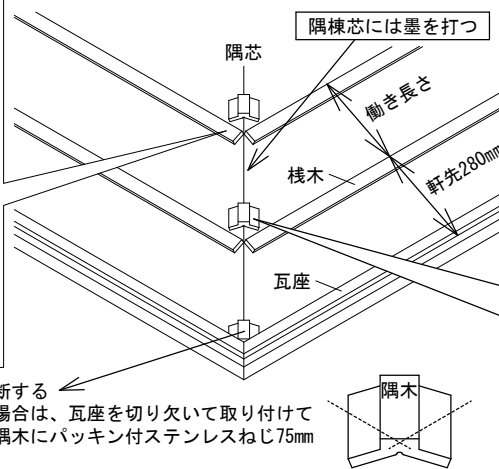
隅棟芯で2面の棧木位置が交わる様に施工してください。【図1】

隅木は取り付け位置を厳守してください。（廻隅中の固定強度に影響するため）【図2】

【図1】



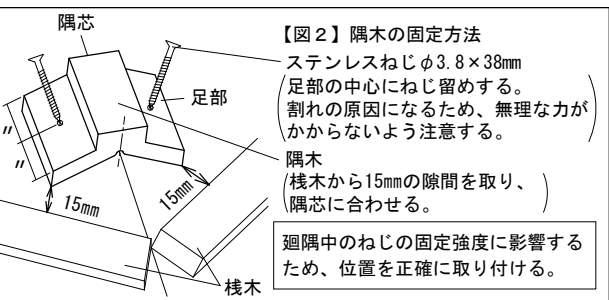
瓦座に干渉する部分を切断する
※三角の瓦座を使用する場合は、瓦座を切り欠いて取り付けてください。（廻隅中は隅木にパッキン付ステンレスねじ75mmで固定します。）



【表1】屋根勾配毎の働き長さ（単位mm）

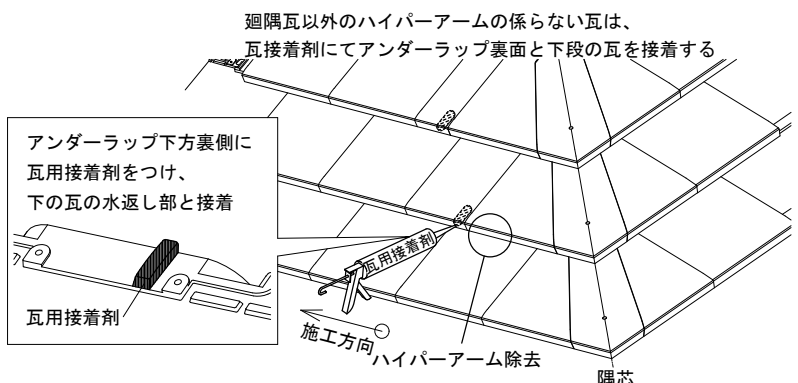
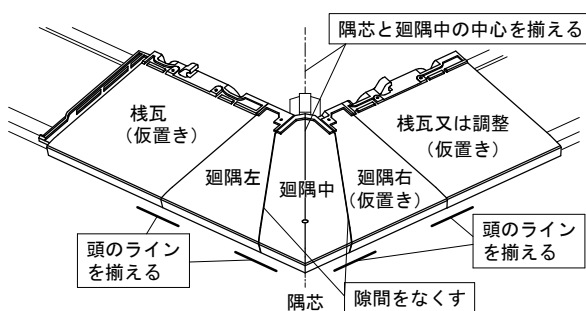
屋根勾配	4.0寸	4.5寸	5.0寸
働き長さ	275	280	285
軒先	280		

※廻隅瓦・谷瓦使用の場合、4寸、4.5寸、5寸勾配以外の働き長さはスマート施工要領書P.4を参照。



<瓦葺き：葺き始め>

廻隅右・左の両隣に棧瓦（又は調整瓦）を仮置きし、廻隅中の中心を隅芯に合わせるように施工します。廻隅右・左はハイブリッドリング釘F形用で、廻隅中はパッキン付ステンレスねじ75mmで留め付けてください。



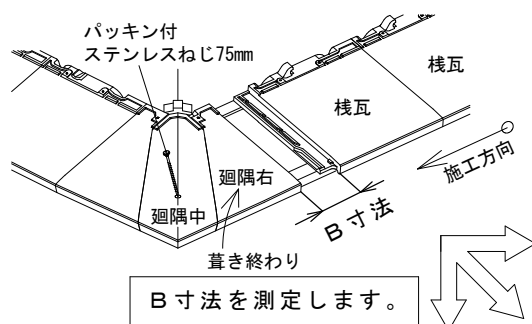
＜瓦葺き：葺き仕舞い＞

棧瓦を左隅棟際まで施工し、廻隅右と棧瓦の隙間（B寸法）を測定します。

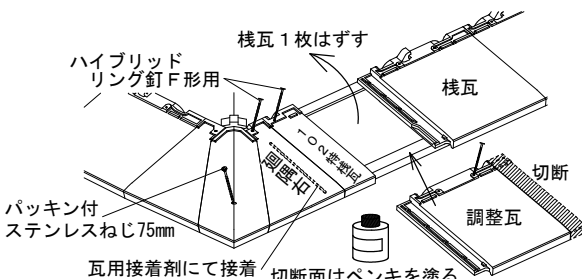
下図のパターンに従って、特棧瓦（102又は204）と調整瓦を配置してください。

※特棧瓦等がハイパーアームに干渉する場合は、ハイパーアームを除去して、瓦用接着剤にて補強してください。

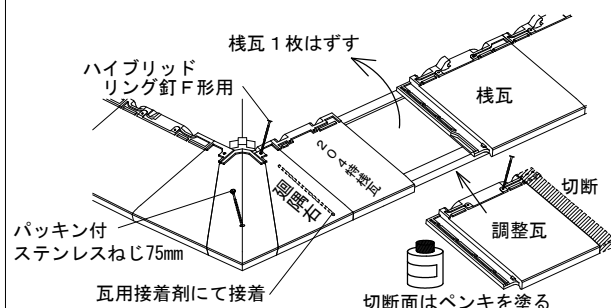
※ハイパーアームが掛からない調整瓦、特棧瓦、棧瓦は、瓦用接着剤で固定してください。



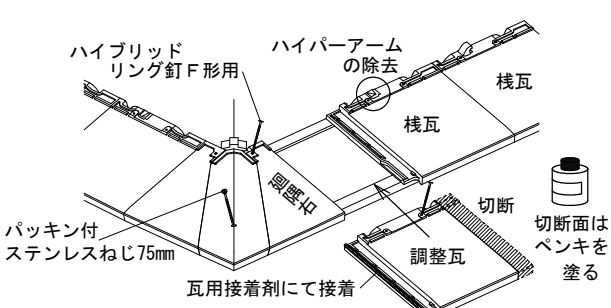
B寸法：102mm以下の場合



B寸法：102mmを超え204mm以下の場合



B寸法：204mmを超え306mm以下の場合



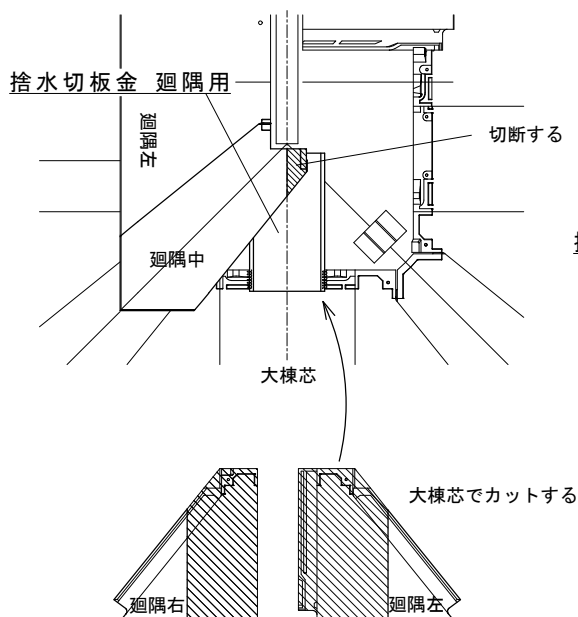
＜瓦葺き：棟際＞

三角面の最上段では、廻隅左と廻隅右を棟芯で切り合わせて施工します。

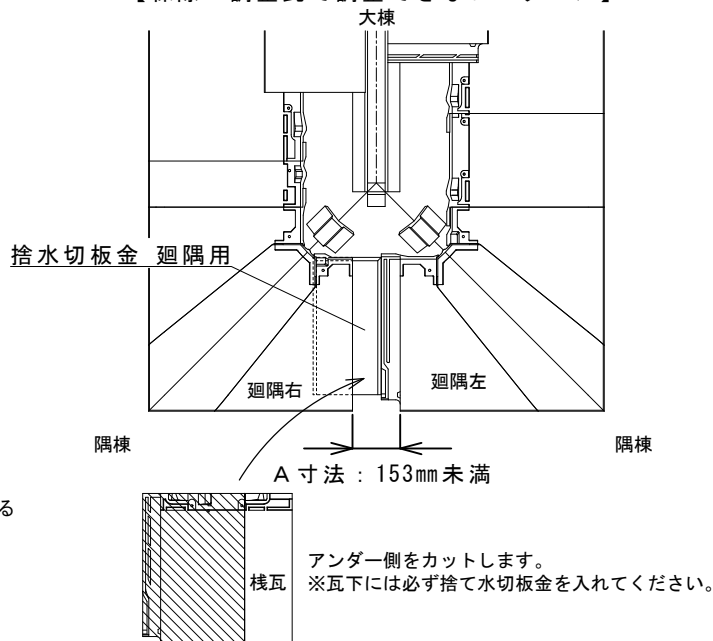
棟際で廻隅左～廻隅右間が153mm未満となる場合は、棧瓦をカットして納めてください。

カットによって瓦のアンダーラップがなくなる箇所には捨て水切板金を入れてください。

【三角面の最上段】

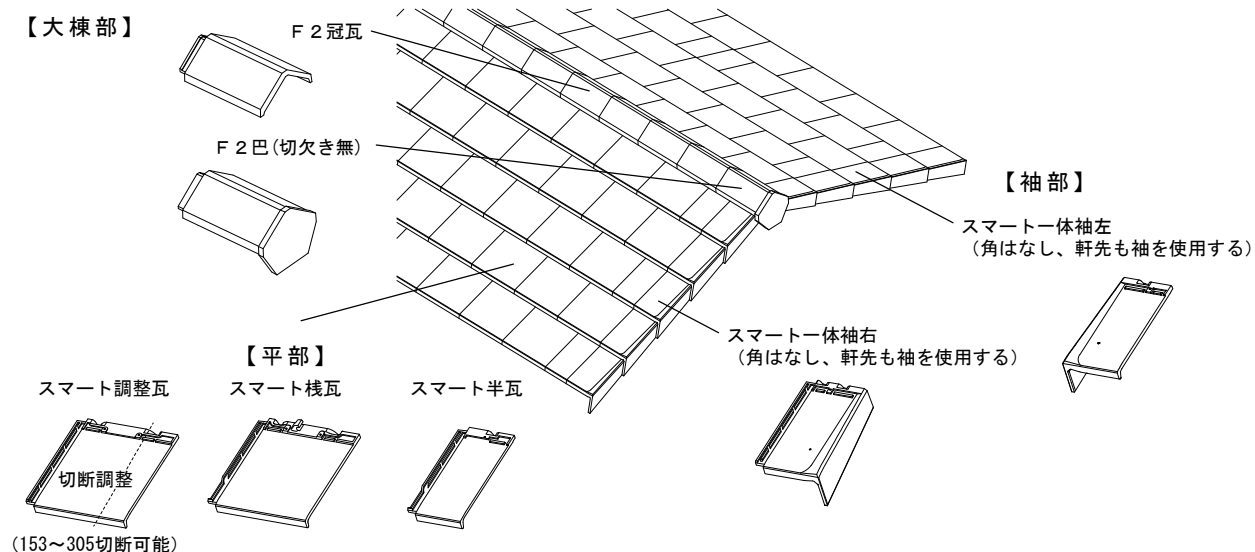


【棟際：調整瓦で調整できないパターン】



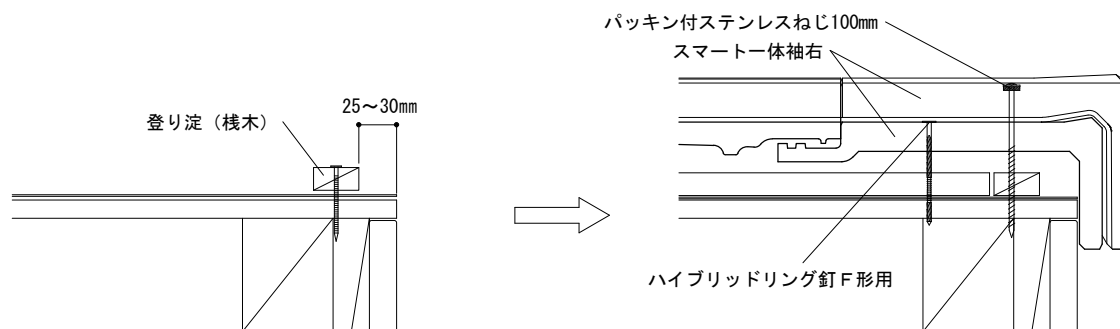
〔 3 〕 切妻屋根の施工

＜切妻屋根で使用する瓦の種類＞



＜袖部の下地材の取り付け＞

破風板は立ち上げず、野地端から25～30mmの位置に登り淀(棧木)を取り付けてください。



＜袖部の瓦葺き＞

角瓦はありませんので、軒先も袖瓦を使用してください。

軒先の袖瓦が外側に転ばないように捨てビスを打ち、袖瓦を水平に取り付けてください。

葺き仕舞いは、調整瓦をカットして幅調整を行ってください。

